

過去2年間(2015年・2016年)の【全日遊連の加盟店舗データ】

組合加盟店舗の実態調査結果について(経過報告)  
(都府県方面遊技業協同組合加盟店舗)

(平成28年1月22日現在の集計)

平成27年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	10,638	13	33	135(20)	2,699,996	1,507,334	156	4,207,486
2月	10,613	9	39	129(9)	2,690,969	1,504,884	156	4,196,009
3月	10,571	5	51	125(12)	2,689,043	1,505,010	156	4,194,209
4月	10,558	23	51	115(11)	2,690,056	1,509,613	156	4,199,825
5月	10,480	3	78	104(36)	2,672,875	1,501,585	156	4,174,616
6月	10,423	5	61	126(24)	2,662,696	1,498,686	252	4,161,634
7月	10,407	7	40	112(11)	2,660,478	1,499,430	156	4,160,064
8月	10,400	16	25	114(14)	2,660,770	1,503,216	156	4,164,142
9月	10,365	10	40	120(10)	2,656,093	1,504,472	156	4,160,721
10月	10,342	12	28	126(16)	2,652,510	1,505,000	156	4,157,666
11月	10,327	12	33	121(13)	2,652,447	1,507,668	156	4,160,271
12月	10,325	33	28	124(20)	2,653,593	1,516,969	156	4,170,718
(1月からの累計)		(148)	(507)					

(注) ①店舗数及び遊技機台数は、各月の末日現在の数  
 ②※…「その他」は、アレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。  
 ③廃業店舗数は、組合脱退店舗も含む。  
 ④平成26年12月 ・営業店舗数 10,661 ・新規店舗数 30 ・廃業店舗数 42 ・休業店舗数 131(20)  
 ・ぱちんこ遊技機 2,700,898 ・回胴式遊技機 1,505,557 ・その他 156 ・総台数 4,206,611

組合加盟店舗の実態調査結果について(経過報告)  
(都府県方面遊技業協同組合加盟店舗)

(平成29年1月20日現在の集計)

平成28年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	10,315	10	23	130(8)	2,651,076	1,517,998	156	4,169,230
2月	10,273	9	37	135(15)	2,643,798	1,516,897	156	4,160,851
3月	10,210	7	61	137(20)	2,631,433	1,514,168	156	4,145,757
4月	10,166	13	40	152(41)	2,624,193	1,519,481	103	4,143,777
5月	10,139	9	34	151(17)	2,614,306	1,517,022	103	4,131,431
6月	10,126	15	28	153(16)	2,610,395	1,519,622	103	4,130,120
7月	10,092	6	37	154(15)	2,598,559	1,522,851	103	4,121,513
8月	10,077	11	34	145(17)	2,593,413	1,525,490	103	4,119,006
9月	10,044	5	45	143(17)	2,584,159	1,524,774	103	4,109,036
10月	10,021	3	27	139(13)	2,578,284	1,524,948	103	4,103,335
11月	9,993	8	37	138(15)	2,570,292	1,525,852	103	4,096,247
12月	10,011	46	33	131(16)	2,576,278	1,541,556	103	4,117,937
(1月からの累計)		(142)	(436)					

(注) ①店舗数及び遊技機台数は、各月の末日現在の数  
 ②※…「その他」は、アレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。  
 ③廃業店舗数は、組合脱退店舗も含む。  
 ④平成27年12月 ・営業店舗数 10,325 ・新規店舗数 33 ・廃業店舗数 28 ・休業店舗数 124(20)  
 ・ぱちんこ遊技機 2,653,593 ・回胴式遊技機 1,516,969 ・その他 156 ・総台数 4,170,718

タイトル～<今年も【3/4が経過】しまして…現状の業界推移は？>

■まず、3年間の推移を確認～※「全日遊連」データを参照。

いよいよ今年もラストスパートの時期になりましたね。既に年間の「3/4」以上を経過して、残す所「あと2ヶ月」です。ぶっちゃけ、『他人の事にかまっている暇は無い』と言う現状もあろうかと思いますが、そうは言っても「業界全体の推移」は、行政も、メーカーも、販社も、ホールも含め、業界全体としては気になるところもあるでしょう。

過去2年の詳細は、「別紙のページ」をご覧ください。今年を含む3年間で各「4半期分割」で見てください。

【平成27年・2015年】

分割期	分割期の合計				期末の遊技機台数				店舗規模
	期末店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数	ぱちんこ	回胴式	その他	総台数	台数/店舗数
1月～3月期	10,571	27	123	125	2,689,043	1,505,010	156	4,194,209	396.8
4月～6月期	10,423	31	190	126	2,662,698	1,498,686	156	4,161,540	399.3
7月～9月期	10,365	33	105	120	2,656,093	1,504,472	156	4,160,721	401.4
10月～12月期	10,325	57	89	124	2,653,593	1,516,969	156	4,170,718	403.9
合計		148	507						

【平成28年・2016年】

分割期	分割期の合計				期末の遊技機台数				店舗規模
	期末店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数	ぱちんこ	回胴式	その他	総台数	台数/店舗数
1月～3月期	10,210	26	121	137	2,631,433	1,514,168	156	4,145,757	406.0
4月～6月期	10,126	37	102	153	2,610,395	1,519,622	103	4,130,120	407.9
7月～9月期	10,044	22	116	143	2,584,159	1,524,774	103	4,109,036	409.1
10月～12月期	10,011	57	97	131	2,576,278	1,541,556	103	4,117,937	411.3
合計		142	436						

【平成29年・2017年】 (3/4期経過)

分割期	分割期の合計				期末の遊技機台数				店舗規模
	期末店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数	ぱちんこ	回胴式	その他	総台数	台数/店舗数
1月～3月期	9,915	27	124	123	2,546,723	1,541,591	103	4,088,417	412.3
4月～6月期	9,856	49	97	135	2,536,885	1,551,480	103	4,088,468	414.8
7月～9月期	9,774	16	114	114	2,520,597	1,551,793	103	4,072,493	416.7
10月～12月期	?	?	?	?	?	?	?	?	?

近々3年間の推移…少しは見易くなりましたかねえ？

ちなみに、【遊技産業健全化推進機構】における登録店舗数は、「10,739店舗(10月30日現在)」です。と言う事は、いわゆる「非組合員店舗」の数は、「差引965店舗」にあり、機構登録全体の「約9.0%」になります。

以上、ザックリまとめて言うと、こんな感じになりますね。

- 【全体店舗数】…相変わらずの減少傾向です。今年の最終結果は、「9,700店舗割れは無い」のか？
- 【新規店舗数】…今年年末期の新規店舗は、果たして何店舗があるのでしょうか？「新規40店舗」くらいなのか？
- 【廃業店舗数】…通年程度の「100店舗弱」で収まるのか？それとも「150店舗」程度まで増加するのか？
- 【パチンコ機】…減少傾向は止まっていない。「減少数=2万台以下」で、250万台を死守できるのか？
- 【スロット機】…昨年後半の増台ラッシュから、安定した台数の推移になっている。大きな変動は無さそう？
- 【店舗規模】…概ね「3ヶ月間で2台」程度の増加となる。来年中には、「420台」以上となる様相です。

※<規模の実数>は、「10%程度プラス」する必要はありますが、グラフ化される様なく数値の推移>においては、大きな差異は無いものと思われ、傾向をリアルな推移と考えて問題無いでしょう。

さて、皆さんが生きているこのパチンコ業界は、この先どうなっていくと思いますか？

皆さんが所属する個々の会社も、働く個人個人も、「その業界の中の一人」ですし、たまには妄想してみませんか？

まあ、『明日の営業には全く役にたちません』けど…ね(汗

## ■【全体店舗数の推移】について。

「今年9ヶ月」だけを見ても、その実数数は「10,011店舗⇒9,774店舗(▲237店舗)」となっており、その**減少率は「-2.4%」**になっている。これを『**下げ留まっている**』と言うか？『**現在も進行中**』と言うか？は微妙な判断ですが、いずれにしても、『**減少している**』事は事実ですね。

しかしながら、遊技機の【設置台数】が、変動率で「**パチンコ=▲2.2%減**」、「**スロット=+0.7%増**」となっており、『**全体としては▲1.1%減に留まっている**』と言う結果が、後で触れる「店舗の大型化と言う現実」を物語っている。

## ■【新規・廃業店舗数の推移】について。

<マクロ的全体論>を語る上では、上記の「増減差引の店舗数」で語れば良いのだろうが、<ミクロ的现实論>を精査するならば、最も気になるのが【**廃業店舗数の実数**】になる。私が懸念するのは、一旦『**廃業店舗の社員さんの仕事が失われる**』と言う現実です。無論そのまま、法人変更の店舗に残る事もありますが、如何せん「**店舗数がマイナス状況**」である以上、**勤務先が減る事は「なんともならない現実」となる**事が、口惜しくもあり、また寂しくもあります。また【**新規店舗数**】には、**完全な新店舗は少ない**事は想像に易い時代でもあり、**多くは「法人変更」**と思われませんが、そうすると、『**ガッツリ新規改装!**』も少なく、「**設備業者さん**」にとっても大きな受注は望めないのかもしれない。

## ■【遊技機台数】について。

**少規模店舗が「毎年450店舗」前後淘汰され、大型店舗が「毎年150店舗」程度に取って代わる**と言う変動現状の中、**スロット台数の規模が「昨年2016年の夏」以降に一気に「2万台」程度増加した**。この頃から新店舗、または改装による「**スロット比率**」が変化し、「**50%前後がスタンダード**」になった時期になります。その勢いは今年になっても衰えず、今年もスロット台数は増え続けている。反面、パチンコ台数は、近々では「**2014年の270万台**」をピークに、「**2015年=265万台**」「**2016年=258万台**」と減少し続け、**今年「2017年は250万台」まで減少する**事になる。しかし、近未来の遊技機は、【**今回の「規則改正」が3年後の未来のスペック原点**】となる訳で、スロットの緩やかなスペックダウンは避けられない状況が、スロット市場に暗い影を落としている事は否めない。パチンコにおいては『**規則改正による影響は少ない**』とは言うものの、それとて「**決して明るい未来像を描けるには至っていない**」のもまた現実。

## ■【店舗規模】の変化について。

上記表は、単純に<総台数÷店舗数>の算出数値になる。ご覧の通り、「2015年・夏」のスロット増台と共に、遂に「**1店舗=400台超**」と言う基準に入った。それから2年半、**来年早々「420台時代」に突入する**と思われる。

ちなみに、【**1店舗台数の歴史**】を紐解くと・・・「**1993年=250台**」⇒「**1998年=270台**」⇒「**2003年=300台**」⇒「**2008年=350台**」⇒「**2013年=390台**」と言う台数推移となります。

まあ**今更「歴史のお勉強」**をしたところで、『**何にも役に立たない**』けれど・・・<一つ言える事>が**有る**と思います。

それは・・・『**私たちの業界は、常に変化と進化をし、ホールもそれに対応し、受け入れて来た産業である**』。

だからこそ・・・『**私たち業界は、まだまだ進化出来るのです**』。そして『**対応する知恵も力もある**』。

たとえ厳しくとも、たとえ落伍者が出て・・・『**進化した者だけは生き残り、次の栄華を授受出来るのだ**』・・・と信じる。

<このコラムは、フリーコンテンツに該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください>  
<また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします>